

明治廿五年四月十五日

群生アツシヂヤ生活上の一奇顯象

第四卷 一四四

圖を結び合せ想像せば容易に該動物の形狀を知るを得べし而して軀腔内には若干の食物の殘餘ありしと云ふ、細胞間にも大したる相違を見ず孰も Infusoria に似たる細胞にて、内外兩面に Cilia を有し内面の Cilia の方餘程長し、扱斯様に珍らしき構造なれど各個細胞の幾分か Infusoria に似たるものと前に述べし如く初めは Infusoria のみありて後には此動物のみありしを以て Frenzel 氏は此兩種の動物を同一のものと認し前に Infusoria なりと思ひしは Salinella の幼蟲にて、集合或は分裂にて第二の形狀に達するものなるべしと判斷せり、果して然らば之れ眞の Protozoa, Metazoa の間に位するものにして分類學及び進化學上誠に面白きものあれど其形態上に於て猶疑を存すべき點多ければ唯右の構造のみを述べたり、幾分の Dieyema 類にも似たれど軀腔らしき所眞に軀腔に相當するや否や等の間に對しては判然たる答をなす能はず

圖解 一、全動物 二、横切面 三、縦切面

●群生アツシヂヤ生活上の一奇顯象

丘 淺治郎 述

予は兩三年前より Tunicata 類の研究を始め當地へ來りて後も引續き日本沿岸の種類を研究せしか昨年十一月或る一種に就き芽生の有様を取調べんと欲せしにいと面白き事を發見せし故一寸此所に報知す、但し之れハ少々専門の事ゆへ一般の諸君に面白きや否や知らされど兎に角其概略だけを左に記載す

Diplosoma と云へる群生アツシヂヤハ今まで人の一番少く記載せし動物の一なるべし其構造に就ても其生活上の事實に就ても論說最も少し、依て予ハ之を幾分か明になしたしと思ひ其研究に取掛りしに、珍らしき事は各個の動物皆二個の鰓籠を有し、其一是已に老ひ、他の一は若くして實際呼吸の役を務むる様に見ゆ尙よく調ふるに食道よりは二三の芽を生ずれども大抵は此芽より唯鰓籠のみを生じ決して新き一個の動物を生ぜず、今左に圖を示し

明治廿五年四月十五日

と欲す、詳細は其内出版せんと思ひ居れを其節御覽を乞ふ右に記せし鰓の芽生の外尙二種の芽生をなせど此ハ他日に譲る



●普通動物學講義第貳拾八

第八章(第五門 蠕蟲ノ綱キ)

箕作佳吉述

第四綱 關節蟲類 Annelida

以上述べ來リタル扁蟲類圓蟲類ヲ下等蠕蟲トナス是ヨリ說カントスル關節類ハ其軀ノ構造是等ヨリモ高等複雑ナリ通常延長シタル軀ハ數多ノ關節ヨリ成リ神經系統順環系統運動器等モヨク發達セリ又關節器 (Segmental organ) ト稱スル一種固有ノ排泄器ヲ有ス

關節蟲類ヲ分類スルニ左ノ如シ

第一亞綱 毛足類 Chaetopoda

第二亞綱 蛭類 Hirudinea

關節蟲類附屬

- 一、げふひりや蟲(一名 星蟲) Gephyrea
- 二、ぼりぐわ蟲(群棲類多ク 貝苔蘇蟲) Polyzoa, Bryozoa
- 三、ぶらきれぼだ蟲(腕足類 擔腕類) Brachiopoda,

第一亞綱 毛足類 Chaetopoda

軀中每關節ニ一種ノきちん質ノ細キ毛刺ヲ有ス此亞綱ハ甚タ大ナル區分ニシテ之ヲ二目ニ分類ス

第一目 多毛類 Polychaeta

鹹水産ニシテ雌雄ヲ別ニス

第二目 貧毛類(蚯蚓類) Oligochaeta

地上或ハ淡水ノ産ニシテふたなりナリ

第一目 多毛類 Polychaeta

多毛類ヲ說クニ當リ先ツ我邦海岸各處ニ多キ沙蠶(ゴカイ)ヲ取リテ其構造ノ概略ヲ述ブベシ

沙蠶ノ類ハ魚餌トシテ使用スルヲ以テ其全觀、其沙泥中ニ生活スルヲ、其ノ人ノ指ヲ嚙ム力アルヲ等ハ普ク人ノ知ル處ナリ其類數種アリト雖モ皆 Nereis 屬ニ屬シ何レニテモ今下ニ述ル處ト大同小異アルノミ今何種ニテモ